

歳出では、民生費(福祉関係費)の増加傾向が続いています。10年前に比べ177億円以上増加しており、今後もさらなる増加が見込まれています。一方で、ここ10年減少傾向の土木費ですが、今後は道路や橋、公園、公共施設の整備に多くの施設更新費用が見込まれ、こうした費用をどのように捻出していくのが課題となります。

## 決算質疑より

グリーンズ川越66号参照

### 補助金支出の見直しの取組み状況を確認 → 提言から8年、ようやくガイドライン策定へ

多額の補助金支出については検証や見直しが必要であり、今後はガイドラインを整備し、補助金支出の考え方や指標等を明確にする必要があると訴えてきましたが、今年度を目途にガイドラインの策定を進めていることが確認できました。

## セグメント分析の実施へ **一步前進!**

グリーンズ川越89号参照

Q, 川口) 財務書類等をより有効に活用するため、事業別や施設別のセグメントによる分析について、昨年の決算質疑では、調査研究したいと答えているが、取組み状況を確認したい。

A, 財政部長) 施設別のセグメント分析が出来るように、令和4年度に導入した財務会計システムにおいて、資産情報等の整理を行っている。

\*セグメント分析とは、財務書類の情報をもとに、施設、事業等のより細かい単位(セグメント)で財務書類を作成し、コスト等の分析を行うことであり、同種のセグメント間で比較すること等により、財務活動上の課題や成果をより明確化することが可能になります。



## 9月議会川口の一般質問より **公共施設マネジメントについて**

川越市では1972年から1983年にかけて、多くの公共施設が建設されており、今後それらが一斉に更新時期を迎えます。川越市に限らずですが、市には全ての施設を建て替える財政的余裕は無く、少子高齢化や人口減少、時代の変化に伴う市民ニーズを捉え、将来の公共施設のあり方を考える必要があります。そして、自治体経営の視点から、公共施設を総合的かつ統括的に、企画・管理・運営・利活用する仕組みである、「公共施設マネジメント」の取組みを進めていかなければなりません。これは、本市が急ぎ取り組まなければならない大きな課題です。

これまで何度となく取り上げてきたテーマであり、過去のやり取りを踏まえ議論をさせていただきました。

Q, 川口) 令和2年10月に策定された川越市個別施設計画では、2025年度までに「更新の検討をする」としている施設が多数あるが、2025年度までに「更新の検討」とは、どのような状況にすることを想定していたのか。

A, 総合政策部長) 複合化や集約化、廃止なども併せて検討したうえで、一定の方向性を示すことを想定していた。



### **一定の方向性を示すことが出来ているのは一部にとどまっている!**

**方向性が示された施設:** 芳野市民センターを移転し新築。霞ヶ関北公民館を移転新築に合わせ市民センターと複合化。古谷保育園を改築し、古谷第二保育園を集約化。霞ヶ関東老人デイサービスセンターを廃止し、学童保育室に転用。等

【図表 33 学校施設と他の公共施設等との複合化のイメージ】



※文部科学省「学校施設の老朽化対策について～学校施設における長寿命化の推進～」

次ページへ続く

